



滋賀県議会議員

奥村よしまさ 県政レポート

Okumura Yoshimasa Kensei Report



Vol.60

令和4年1月発行



今年こそ、皆さんの暮らしに元気と笑顔を!

謹んで新春のお慶びを申し上げます。

昨年もコロナに苦しめられた一年となりました。リベンジ消費などにより景気は少しずつ回復しているものの、新たな変異株であるオミクロン株の流行が我が国でも懸念されており、まだまだ警戒が必要な状況です。県議会としても、これまでワクチン接種体制の強化や、休業補償、融資制度の拡充などの経済対策等を県当局に対して要請してきたところですが、これからもコロナとの共存を図りながら、一刻も早く皆さんに平穏な日常が戻り、そして活気ある暮らしが送れるよう議員活動に励んでまいりたいと思っております。

今回の県政レポートでは、昨年末の11月定例会議で可決したコロナ対策を中心とした滋賀県の補正予算を掲載させていただきましたのでご確認いただければと思います。

最後になりましたが、皆様の今年一年のご健康とご多幸をお祈り申し上げますとともに、今年も変わらぬご支援とご指導を賜りますようお願い申し上げます。

一般会計補正予算 12億3,268万円を可決

2021.12.21本会議

知事办公室

192万2千円

- 新型コロナ緊急対応広報事業 477万2千円
新型コロナウイルス感染症について、情報が届きにくい方も含めた全ての県民に、
もれなく正しい情報を提供する

総務部

-4,300万円

- 新型コロナウイルス感染症対策環境整備等補助金 -4,300万円
県立大学の学務事務管理システム改修事業の入札執行残に伴う減額

文化スポーツ部

-3,194万円

- 文化芸術公演支援事業 -3,800万円
事業実績見込みに応じた減額
- 未来へつなぐ しが文化活動応援事業 -400万円
事業実績見込みに応じた減額
- 琵琶湖文化館管理運営費 1,006万円
(仮称)新・琵琶湖文化館の整備を推進するため、PFIアドバイザリー業務や整備予定期地のボーリング調査等を行う

土木交通部

231万5千円

- 公園管理費 1,364万2千円
新型コロナウイルス感染症対策として行なった湖岸緑地駐車場閉鎖等にかかる費用を増額する

商工観光労働部

4億8,312万6千円

- 事業継続支援事業 4億8,312万6千円
感染拡大の影響を受ける事業者の事業継続を支援するため、売上が減少した県内中小企業等を対象として、事業継続支援金の不足額を増額する

農政水産部

100万5千円

- 農地中間管理事業促進費 2,165万1千円
担い手への農地集積や分散化した農地の集約化が円滑に進むよう、農地中間管理機構を通じて、担い手への新たな農地集積に協力する者や地域に協力金を交付する

健康医療福祉部

9億5,350万2千円

- 新型コロナウイルスワクチン接種促進支援事業 2,385万8千円
令和4年4月から開始予定である3回目のワクチン接種にかかる体制を確保する
- 宿泊療養体制確保事業 4,756万円
軽症者等の宿泊療養施設の体制を強化する
- 高齢者施設等における一斉検査事業 3億1,225万6千円
高齢者施設の従業者等に対してPCR検査等を実施できる体制を整備する
- 新型コロナウイルス感染症にかかる介護サービス継続支援事業 3,322万8千円
感染者が発生した介護サービス事業所等に対する、職員確保や感染症対策などのかかり増し経費の支援、衛生用品の備蓄、緊急時の応援派遣に係る体制構築の支援を実施する
- 障害福祉サービス等事業所における感染防止対策継続支援事業 1,121万円
障害福祉サービス等事業所における感染防止対策にかかるかかり増し経費を支援する
- 滋賀県安心ケアステーションの開設 4億813万円
感染拡大期に確保病床での入院受け入れが困難な場合において、必要な医療的ケアを提供できる体制を整備する
- 行政検査業務 1億2,006万1千円
新型コロナウイルス感染症にかかる検査について、民間検査機関や医療機関でも実施できる体制を整備する
- 見守り観察ステーション事業 -3億9,561万5千円
県立総合病院への移設による減額
- 入院等費用にかかる公費負担 4億9,272万3千円

琵琶湖環境部

243万5千円

- 琵琶湖博物館管理運営費 32万6千円
休館に伴う休業補償にかかる経費を増額する
- 単独治山事業 800万円
8月の大雨による集中豪雨災害の復旧を図るため、治山施設の計画のための測量を行う

教育委員会

-1億3,668万6千円

- 県立学校トイレ整備事業 -1億4,097万6千円
県立学校トイレ整備事業の入札執行残等に伴う減額
- 県立学校ICT環境整備事業 310万円
県立学校の1人1台端末授業の本格運用に向け、ICT活用指導力を向上させるため、教員研修を実施する



滋賀県議会議員

教育・文化スポーツ常任委員会 委員

議会運営委員会 委員

行財政・新型コロナウイルス感染症等危機管理対策特別委員会 委員

決算特別委員会 委員

自民党滋賀県支部連合会

会長代行

事務所 〒525-0041 草津市青地町692-15 サンハイム東草津1F TEL:077-567-1500 FAX:077-567-1588

自 宅 〒525-0042 滋賀県草津市山寺町477 TEL・FAX:077-562-4841

活動日記毎日更新中! <http://www.genki-shiga.jp> facebookも チェック! → 奥村芳正 携帯でも 発信して います! →

奥 村 芳 正



あなたの声を県政に！

いのちとくらしを守ります



LIBERAL & DEMOCRATIC
自由民主党

滋賀県議会議員団

県議会レター

代表質問

11月定例会議



質問者 有村 國俊 議員

草津市「成人の日」記念式典

令和4年
1/10
(月・祝)

私奥村は午後の部の式典に出席させていただき、新成人の皆さんにお祝いの言葉をお贈りしたいと思います。



	校区	対象者数
午前	高穂中 老上中 新堂中	男子:323／女子:320 計643人
午後	草津中 玉川中 松原中	男子:506／女子:393 計899人
全体合計:1,542人		

※対象者は平成13年4月2日から平成14年4月1日までに出生された方です。

新型コロナウイルス感染症への対策と今後について

Q 自公政権が進めたワクチン接種の評価とその効果

A 知事 第5波においては、高齢者のワクチン接種が一定進んでおりましたことから、本県においても陽性患者数が今まで最大の規模となったにもかかわらず、高齢者の感染者数が比較的少なく、結果として死亡された方や重症化された方を低く抑えることができたと捉えております。また、11月末現在において、ワクチンの2回目接種完了された方は接種対象者である12歳以上人口の8.5%を超えるまでとなったことで、現在の感染動向が非常に落ち着いている状況につながっていると考えており、ワクチンの効果が

如実に表れているものではないかと評価しているところでございます。

Q 第6波への備え

A 知事 病床ひつ迫時には、臨時の医療施設の運用を開始することで、入院待機者などを速やかに受け入れるなど予測される第6波に備えて、一般医療を維持しつつ、療養者にこれまで以上に安心して療養していただけるよう、陽性確認前から回復・療養解除後まで切れ目なく対応できる体制の強化を進めてまいりたいと存じます。

滋賀のスポーツ振興について

A 知事 スポーツは、心身の健康の保持増進に重要な役割を果たし、人々の精神的な充足や明日の活力をもたらすなど生きる力になるとともに、共生社会や活力ある地域社会の実現に寄与しており、東京オリンピック・パラリンピックを通じて、その力を再認識いたしました。

また、2025年に本県で開催される国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会におきましても、子どもたちをはじめ多くの県民が、選手の活躍を感じるとともに、大会運営に携わることで、スポーツの魅力を一層感じることができる機会になると考えております。これらの経験を通して、例えば、子どもたち

が新しくスポーツに挑戦したり、地域に新たなシンボルスポーツが誕生したり、スポーツボランティアが根付く滋賀にしたいと考えております。スポーツを通じた共生社会の実現に向けて、障害者スポーツに対する理解の促進にも一層取り組んでまいりたいと存じます。

そのような滋賀のスポーツを思い描きながら、県民の皆さんが年齢や障害の有無に関わらず様々なスポーツを気軽に始め、楽しむことができる環境づくりに取り組み、スポーツをする」「みる」「支える」という関わりの中で、県民の皆さんや地域の健康づくりを進めていきたいと存じます。

スポーツ・ツーリズムの推進について

A 知事 本県では、琵琶湖をはじめとする豊かな自然環境などを活かして、ビワイチをはじめ、県内各地で湖上スポーツやトレイルランニング、トライアスロン、スキーなどを、多くの方々に楽しんでいただいているところです。これらの本県の自然環境を活かしたスポーツと、歴史文化遺産、食などの魅力を融合させることで、県外から多くの方々にお越し

いただき、地域の活性化につなげていきたいと考えています。またプロスポーツチームの発信力を活用した取組も進めてまいりたいと考えています。今後、関係団体等とも連携し、本県ならではのスポーツをたくさんの方に楽しんでいただけるよう情報発信に努め、スポーツと地域資源の相乗効果が生まれるスポーツ・ツーリズムの推進に取り組んでまいります。

G7環境大臣会合の滋賀県開催を要望

2023年に開催されるG7サミットに伴う環境大臣会合を滋賀県・大津の地で開催されるよう政府、外務省、環境省に要望しました。



二之湯国家公安委員長に「警察官増員」を要望

滋賀県は、警察官一人当たり負担人口が全国3位の621.8人で全国平均の490.3人を大きく上回っています。更にR4の植樹祭、R7の国スポ・障スポも見据え、警察官増員措置を要望しました。



小寺内閣府政務官に防災減災国土強靭化の更なる推進を要望

道路、河川、砂防など県民の安全に資する、国土強靭化の推進予算措置を重点的に要望。



東京2020パラリンピック競泳の金メダリスト

「置かれた場所で咲きなさい」木村 敬一 選手

東京2020パラリンピック競泳の金メダリストは、栗東生まれで2歳の時病気で失明。活発ゆえに生傷が絶えず、10歳からお母さんと彦根のスイミングに通いはじめたそうです。中学校から東京の盲学校へ。ご家族や学校、東京ガスはじめ理解者の支援と、弛まざる努力で、北京、ロンドン、リオのパラリンピックを経て、ついに東京で金メダルに輝かされました。詳しくは『闇を泳ぐ』を是非お読み頂き、エネルギーを受けとってください。



滋賀県では、障害者スポーツを推進するため、きっかけづくりや情報発信、支える人材の育成などに取り組み、2025年に本県で開催します全国障害者スポーツ大会につなげてまいります。同時に開催する国民スポーツ大会とともに県民の皆さんのが夢や感動を共有できる大会にしたいと考えておりますので、引き続き御支援、御協力をお願いいたします。

ハラスメント防止研修を開催しました

臨床心理士の高橋啓子さんをお招きし、「ハラスメントの防止について」講演をいただきました。皆が熱心に聴講し、県議会としてもハラスメント防止により一層取り組む必要があるとの思いを強くしました。

